

編集後記

前号の155頁と156頁に掲載された歯科放射線学講座からのレントゲン写真は、丸山 清教授の意向も汲んで、前号の目次では“フィルム ライブラリー”という区分にしましたが、今回同講座のほかに口腔外科学第2講座からも同一範疇に入れるべきレントゲン写真が投稿されましたので、本号から総説、原著、臨床に加えて“図説”という区分を設けることにしました。また、口腔生化学教室の原田実教授から象牙芽細胞に関する興味ある知見を述べた3篇の外国論文を紹介する原稿が投稿されましたので、これも“文献紹介”という区分で掲載することにしました。

ところで、2年前編集子が松本歯学の編集主任の役を引き受けたとき松本歯学をもっと卒業生に読まれるような雑誌にしたいと考え、いろいろなことを企画してみました。たとえば、学内の先生方に専門分野の最新情報の解説記事を書いて貰うとか、編集委員会で選んだトピックについて幅広い分野から執筆者を選んで総説を書いて貰うとか、あるいは最近の話題についての特集記事を組むとかなどです。しかし、編集子が編集主任を引き受けた頃から急に投稿数が増加して頁数に余裕がなくなり、これらの企画は実行されずに今日に至っています。前号および本号に掲載される“図説”および“文献紹介”はまさしく卒業生向けの記事と言えるもので、“図説”および“文献解説”が今後多数投稿されることを期待しております。

本号は、御覧のように、前号に比べて原著論文や臨床報告の数がかなり少なくなっています。松本歯学は学術雑誌ですから、やはり原著論文や臨床報告が主体になっていなければなりません。会員各位のなご一層のご努力をお願い申し上げます。

(野村 浩道)

松 本 歯 学 第13巻 第2号 (非売品)

1987年8月25日 印刷 1987年8月31日 発行

編集兼発行者 加 藤 倉 三

発 行 所 松本歯科大学学会

399-07 塩尻市広丘郷原1780 電話 0263-52-3100

印 刷 所 電算印刷株式会社

390 松本市筑摩3270 電話 0263-25-4329